

ふだん着でCO₂をへらそう特集号

【問合せ先】

日野市環境共生部
環境保全課

☎ 042-585-1111 (代)
☎ 042-583-4483
✉ kankyo@city.hino.lg.jp



CO₂をへらそうキャラクター
「エコマ」「エコアラ」

今年3月の東日本大震災による原子力発電所の事故などにより、今年の夏は電力が不足し、節電に対する機運が高まりました。電力不足は長期化が見込まれ、今後もより一層生活の中での省エネルギーが求められています。

これに先立ち、市では、平成20年8月から地球温暖化対策として「ふだん着でCO₂をへらそう事業」を市民の皆さまと進めています。

今回の特集号では、4年目を迎えたこの事業の成果の報告と、省エネに向けたライフスタイル見直しのヒントを掲載します。

環境保全課

今こそ
生活スタイルを見直そう

先人たちは、少し不便な生活ではあったかもしれませんが、季節ごと、地域ごとに知恵を出し工夫しながら自然とともに暮らしてきました。

現代人は、多くのエネルギーを消費することにより物質的に恵まれた便利で快適な生活を手にしてきましたが、それにより地球温暖化を招いてしまいました。そのため地球上のさまざまな所で、集中豪雨による災害や、干ばつによる食糧危機など、地球温暖化による影響が出てきています。

私たちは未来の子どもたちのためにも、今こそ、自らの生活スタイルを見直す時期にきているのではないのでしょうか。

みどりの大地 青い地球をいつまでも
ふだん着でCO₂をへらそう事業

「ふだん着」で
できることから始めよう

地球温暖化の問題は、待ったなしで取り組まなければなりません。そのため、この事業は、行政だけでなく市民、事業所の皆さまと一緒に実行委員会を組織し、市を挙げて取り組んでいます。

事業名の「ふだん着」には、2つの思いが込められています。一つは「普段着」を着るように、まずは肩肘張らずにできる事からはじめよう、というものです。もう一つはその行動を「継続して（不断）」取り組んでいこう、という意味です。

市民の皆さまとともに
宣言数は28,008世帯・2,274事業所

事業の主な活動は、省エネの具体的なメニューを市民の皆さまに示して、世帯ごと・事業所ごとに、生活スタイルを見直し、省エネに取り組むことを『宣言』してもらうことです。現在、宣言数は28,000世帯・2,200事業所を超えるまでになっています。

これは、市職員はもとより、市民ボランティアの皆さまが、住宅、事業所の一軒一軒に戸別に訪問して呼び掛けた結果です（写真）。

これらは、これまで日野市が市民の皆さまとともに協働で進めてきた環境先進市としての取り組み成果の一つと言えるのではないかと考えています。

実行委員会は、この市民一人ひとりの宣言を全国に発信し、今後も低炭素社会の実現を呼び掛けていきます。



「継続して(不断)」取り組む

省エネの取り組みは継続することが大切です。

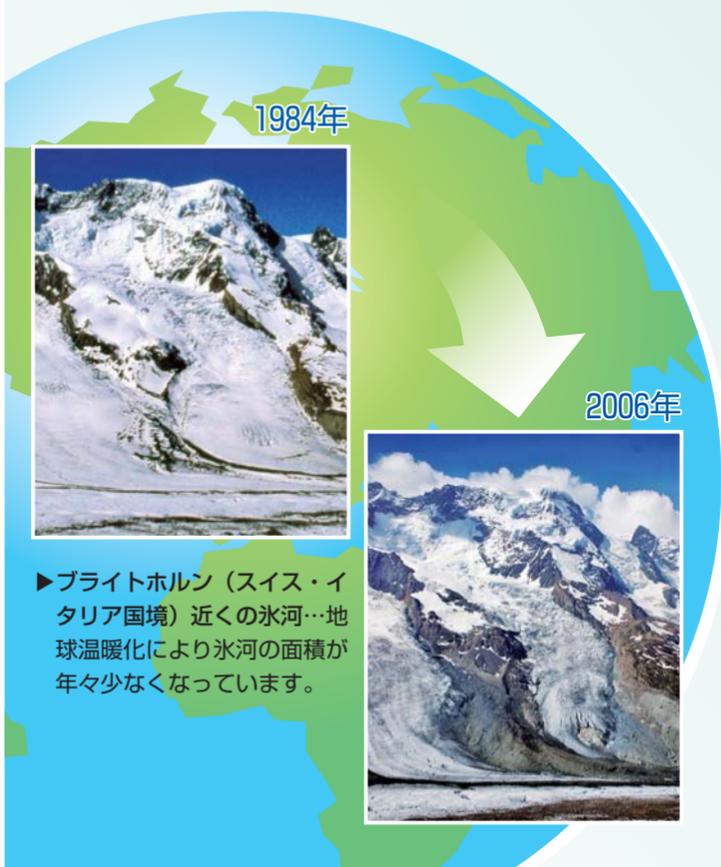
実行委員会では、市民の皆さまの実際の取り組み状況を把握するため、宣言された方にアンケート調査を行っています。

これらの情報は、生きた情報として、広報や宣言者へのたよりを通じて市民の皆さまにお知らせしています。アンケートなどへのご協力を引き続きお願いします。

これからの事業

「ふだん着でCO₂をへらそう事業」は、今年で4年目になります。当初「普段着」で始めた方は、そろそろもう一段階ステップアップして、さらに消費エネルギーの少ない生活を目指してはどうでしょうか。

今後もこの事業で、市民の皆さまの生活スタイル転換をさらに後押しするため、幅広い角度から活動を展開していきます。



▶ ブライトホルン（スイス・イタリア国境）近くの氷河…地球温暖化により氷河の面積が年々少なくなっています。

「エコクマ」「エコアラ」

CO₂をへらそうキャラクターが活躍中



CO₂をへらそうキャラクターとして、「エコクマ」「エコアラ」が活躍しています。昨年12月からは、ラッピングミニバス(写真下)が市内を運行しているほか、10月16日(日)に開催される環境フェアではキャラクターのペビーカステラが登場します。「エコクマ」「エコアラ」を見かけたら、地球温暖化のことを思い出してください。



「エコクマ」「エコアラ」のペビーカステラ焼き機を貸し出し

ご希望の方は、環境保全課までお問い合わせください。



※カステラ作成のための原材料や、プロパンガスはご用意ください。

「エコクマ」「エコアラ」のイラストをご使用いただけます

ご使用にあたっては、お守りいただく事項があります。詳細は環境保全課までお問い合わせください。

省エネ・省資源・環境にやさしい学校づくり ひのっ子エコアクションを進めています

市内の小・中学校では、学校版エコマネジメントシステムとして、ひのっ子エコアクションを実施しています。学校ごとに「省エネ・省資源・環境にやさしい学校づくり」などを目指し、活動を設定しています。計画した活動は、実施後に評価を行い、次年度以降の活動に生かしていきます。



▼一中の生徒たちが取り組む緑のカーテン



市内の小学生が「ふだん着でCO₂をへらそうを」テーマにポスターを描きました

ふだん着でCO₂をへらそう事業では、昨年、ポスター作成を通じて、子どもたち一人ひとりが地球温暖化のことを考え、行動してもらおうと小学生を対象にCO₂をへらそうをテーマとしたポスターを募集しました。

今回は、応募作品168点の中から、市内小学校の低学年の部・高学年の部最優秀賞に選ばれた2点を紹介します。

最優秀賞2点を紹介



▲小学校低学年の部 潤徳小 片岡咲紀さん



▲小学校高学年の部 旭が丘小 迎萌花さん

CO₂削減 できることから始めよう



省エネ 私たちはこんな取り組みをしています

日野市消費者運動連絡会

私たちはこれまで「より良い環境を子どもたちに残していきたい」という思いを持って、なるべく自然に負荷を与えない生活を具体的に提唱し、実践を呼び掛けてきました。

3月11日の福島第一原発事故は、快適・便利さを求め続けてきた生活への反省と、健やかな「生命」をつないでいくことの大切さ・難しさを改めて教えてくれました。10月の環境フェアでは、生命の源である「緑地の保全」を目的に活動する「ひの緑のトラスト」への「募金協力」をお願いします。



ひの・まちの生ごみを考える会

会では、一般家庭生ごみの減量と地域内循環のしくみづくりを目的とし、市ごみゼロ推進課との協働で冊子の製作、アンケート調査と分析、講演会企画、生ごみリサイクルの啓発活動などを行っています。

平成16年からは、八小地域での生ごみ回収と堆肥化事業を開始。

地域住民による「まちの生ごみ活かし隊」を発足させ、回収した約200世帯の生ごみを土ごと発酵させて野菜作りを行うコミュニティガーデン「せせらぎ農園」の活動をサポートしています。

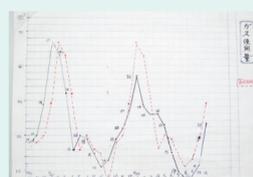


市では、昨年度の「日野市環境フェア」において各家庭における優れた省エネルギーの取り組みに対し、表彰を行いました。今号ではその取り組みの一部を紹介します。

エネルギー使用量の見える化

西平山の佐山さん

西平山の佐山さんのお宅では、エネルギー使用量を把握するため、毎月の電気、ガス、水道、灯油の使用量を記録し、グラフ化しています。グラフ化し、前月や前年と使用量を比較することで、視覚的に増減を確認できるため、使用量が増えた時の原因を考えたり、削減目標を設定したりする時に役立つそうです。また、地域でCO₂削減を図るため、玄関先や門扉に事業のステッカーを貼るとともに、自治会内に事業のぼり旗をかかげ、近隣の方への働き掛けも行っています。



再利用の徹底をしています

東平山の椿さん

東平山の椿さんのお宅では、暮らしの中で発生した不用物を徹底して再利用しています。封筒や紙はもちろん、古布を雑巾やエコバッグの装飾に利用したり、ダイレクトメールの外装や包装紙を利用した楊枝入れを作ったりするなど、再利用を楽しんで実行しています。再利用は、ごみの削減だけでなく、物を作ったり運搬したりするときに排出されるCO₂の削減にもつながります。

また、椿さんは、自宅のエネルギー使用量を把握するため、公共料金専用の通帳を用意しています。使用料金が増えた場合には、気づいた点や原因と思われることを直接通帳に記入し、削減に努めているとのこと。

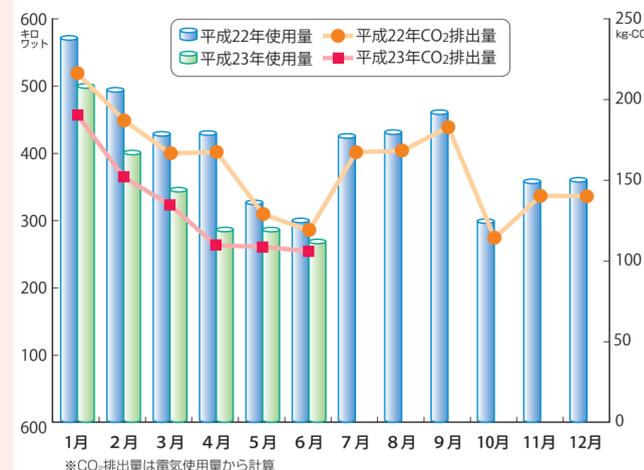


省エネモニター制度を実施しています

市では、家庭でのエネルギー使用量やCO₂排出量を把握する省エネモニター制度を実施しています。モニターの方には、毎月の電気、ガスなどの使用量・使用料金を報告してもらいます。

世帯の平均電気使用量とそれに伴うCO₂排出量を示したグラフです。震災による節電の影響もあり、かなりの削減を図っていただいています。省エネモニターは、随時募集しています。希望される方は、環境保全課までお問い合わせください。

参加世帯の平均電気使用量とCO₂排出量



1カ月当たりのエネルギー使用料金の目安

電気	(円/世帯・月)			都市ガス (円/世帯・月)			水道 (円/世帯・月)	
	世帯	戸建住宅	集合住宅	世帯	戸建住宅	集合住宅	単身世帯	1,900
単身世帯	5,400	4,400	3,000	2,900	2人世帯	3,700	3人世帯	5,000
2人世帯	7,700	6,300	4,100	3,700	4人世帯	6,600	5人世帯	7,800
3人世帯	9,100	7,400	5,600	5,100	6人以上世帯	9,800		
4人以上世帯	11,400	9,300	5,900	5,100				

出典：東京都「家庭の省エネハンドブック」

省エネ診断してみませんか

家庭や事業所での省エネルギーを進めるには、専門家による省エネ診断が効果的です。東京都地球温暖化防止活動推進センター(クール・ネット東京)では、

無料で診断を行っています。ぜひご利用ください。東京都地球温暖化防止活動推進センター(クール・ネット東京)では、-5388-3422)

家庭の省エネ診断

診断員が家庭の電力やガスの使用状況を確認し、すぐにできる省エネのコツをアドバイスします。

事業所の省エネ診断

技術専門員が事業所へ伺い、電気やガスなどのエネルギー使用状況や設備の運用方法を確認し、各事業所に適した改善策を提案します。





10月16日 ひの煉瓦ホール(市民会館)で ふだん着でCO₂をへらそう

日野市環境フェア

地球温暖化の原因となるCO₂排出量を削減するには、一人ひとりの生活スタイルを見直す必要があります。

ふだんの生活の中で続けられる節電・省エネルギーを、このイベントの中で見つけてみませんか？海賊戦隊ゴーカイジャーショーやプラネタリウムなどの体験型

のアトラクションもいっぱいです。

■10月16日(日)午前11時～午後4時

■場ひの煉瓦ホール(市民会館)

■内下表のとおり

■他主催…ふだん着でCO₂をへらそう実行委員会、日野市

■環境保全課



■省エネセミナー～冬の節電に向けて

参加者全員にCO₂計算機・キャラクターカレンダー・ステッカーシールをプレゼントします。

■10月16日(日)午前11時15分～正午

■場ひの煉瓦ホール(市民会館)

■師秋山香織氏(クール・ネット東京エコアドバイザー)



■スタンプラリーを実施

会場をまわってLED電球やキャラクターグッズが当たる抽選に参加しよう！

■環境フェアはカーボン・オフセットを実施します

「カーボン・オフセット」とは、自分が排出している温室効果ガスのうち、削減努力をした上で、どうしても

削減できない量の全部または一部を、他の場所での削減・吸収量で埋め合わせ(オフセット)することです。

▶オフセットの対象活動と温室効果ガス排出量

温室効果ガス排出量：1.0t-CO₂

(1)イベント主催者の会場の使用、資機材の運搬

(2)参加団体の会場への移動など

催し	場所	時間
七生中吹奏楽演奏	大ホール	13:00～13:20
ふだん着でCO ₂ をへらそう式典 エコクマ・エコアラショー エコ活動・川柳表彰式 海賊戦隊ゴーカイジャーショー	大ホール	13:30～15:00
市内企業・団体・市の取り組み紹介	2階小ホール	11:00～16:00
エコ川柳の展示	2階展示室	11:00～16:00
省エネセミナー	3階会議室	11:15～12:00
プラネタリウム	エントランスホール	11:00～16:00
発電体験アトラクション	2階小ホールなど	11:00～16:00
ジュースサービス(スタンプラリー参加者)	市民プラザ	11:00～ ※先着2,000人
スタンプラリーなど	会場全体	11:00～16:00

▶オフセット量とクレジットの種類

オフセット量：1.0t-CO₂

(1)クレジットの種類：オフセット・クレジット/J-VER

(2)プロジェクト名：釜石市緑のシステム創造事業

※詳細な情報は、市ホームページをご覧ください。

海賊戦隊ゴーカイジャーショー



©2011 石森プロ・テレビ朝日・東映AG・東映

太陽光発電システムおよび高効率給湯機器の設置に補助制度があります

地球温暖化の原因となるCO₂排出量を削減するには、ふだんの生活の中で省エネルギーの取り組みを継続するとともに、住宅・設備の省エネルギー化をすることが有効です。

市では、省エネ住宅(エコ住宅)および省エネ機器の普及のため、それらの設置の際に補助金制度を設けています。

▶補助対象機器

補助対象機器	補助金額	予定数
太陽光発電システム 定格電力2kW以上のもの	100,000円	30
住宅用燃料電池コージェネレーションシステム(エネファーム)	20,000円	2
高効率給湯設備 住宅用ガス発電給湯器(エコウィル)	15,000円	5
住宅用二酸化炭素冷媒ヒートポンプ給湯器(エコキュート)	30,000円	5
住宅用潜熱回収型給湯器(エコジョーズ)	15,000円	20

※各機器の補助予定件数は、申し込みの状況により予算の範囲内で変動することがあります。

▶申請できる方

次の1～4のいずれかに該当し、かつ納期が到来している市税および国民健康保険税を滞納していない市民対象。

なお、対象機器は平成22年12月28日～平成23年12月27日に設置が完了するもの

とします。

1 自ら居住する市内のエコ住宅(※1)に補助対象機器を自家用として設置した方(賃貸住宅などに居住する方は、その所有者から機器の設置について同意を得てください)

2 未使用の補助対象機器が設置済みの市内の新築のエコ住宅(※1)を購入した方

3 補助対象機器が新たに設置された市内のエコ住宅(※1)を購入した方

4 市内の賃貸のエコ住宅(※1)または使用貸借にあるエコ住宅(※1)に補助対象機器を設置した当該賃貸住宅などの所有者の方

(※1)エコ住宅とは…当補助事業での「エコ住宅」とは、平成22年10月1日～平成23年12月27日に竣工する住宅で、次の①～③のいずれかに該当するものをいいます。

①日野市エコひいきな住宅認定要綱に基づく認定を受けた新築住宅

②長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づく認定を受けた新築住宅

③国土交通省、経済産業省および環境省が実施する住宅エコポイント制度のポイント発行対象となる要件(リフォームについては工事期間を除く)を満たすと市長が認めた新築またはリフォームされた住宅

※対象に該当するかは環境保全課にお問

い合わせください

▶交付申請

■11月1日(火)～12月28日(水)

■場市役所3階環境保全課

■「補助金交付申請書」(環境保全課にあり)および必要書類を持参

※郵送申請不可。申込多数により、補助金の交付申請額が予算額を超える場合は、抽選により審査を行う順位を決定します。

添付書類など詳細は市ホームページをご覧ください。環境保全課へお問い合わせを。

▶交付請求

市から補助金交付または不交付の決定通知書を、申請者の方へ送付します。

交付決定を受けた方は、平成24年1月31日(火)までに補助金交付請求書を提出してください。請求書で指定された口座(申請者本人名義)へ市から補助金を振り込みます。

▶実績報告

補助金を交付された方は、平成24年2月29日(水)までに補助金実績報告書を提出してください。

▶その他

太陽光発電システムなどに関しては、国・都の補助も活用できます。

消費電力の「見える化」機器を貸し出します

テレビや掃除機など家電製品の消費電力を「見える化」して節電・省エネをしてみませんか？

ブレーカーに取り付けて家全体の使用電力を測る「省エネナビ」(写真右)と、コンセントと家電のプラグの間に取り付け機器の消費電力を測定する「ワットモニター」(写真左)を無料



で貸し出します。

▶貸出期間

省エネナビ…最長90日間、ワットモニター…最長30日間

▶貸出対象者

市内に住所を有する個人・団体および「ふだん着でCO₂をへらそう宣言」を行った個人・団体

▶申請方法

市役所3階環境保全課に申請してください。

※機器の数量が限られていますので、事前にお問い合わせください